

2023年4月4日
沖縄電力株式会社
シードおきなわ合同会社

硫黄島及び南鳥島における再生可能エネルギー等導入実証事業の実施について

沖縄電力株式会社(代表取締役社長:本永 浩之)及び子会社のシードおきなわ合同会社(最高経営責任者社長:島袋 清人)は、硫黄島及び南鳥島において再生可能エネルギー等を導入することを目的とする実証事業を環境省より受託しましたので、お知らせいたします。

単独系統で電力を供給する離島は、台風や塩害等、過酷な自然環境下にあり、甚大な台風等の際には物資供給も容易でなくなるため、必要な設備等が稼働できるよう電力の安定確保が特に重要となっています。

本実証事業では、両島に太陽光発電、系統安定化装置(蓄電池)、可制御負荷(EV、省エネ機器等)及びこれら機器を統合制御するEMS等から構成されるエネルギーシステムを構築し、効率的に運用することで、両島におけるレジリエンスの強化及びCO₂排出量の削減のための実証を行ってまいります。

本実証事業を通して得られる成果を展開することで、本土系統と連系されていない離島等における再・省・蓄エネルギー等を最大限活用した地域の再エネ主力化・レジリエンス強化を加速化し、国における2050年カーボンニュートラルに向けた取り組みがより一層推進していくことが期待されます。

当社グループは、県内離島の小規模電力系統への太陽光発電や風力発電などの再エネ導入を通じて蓄積した経験や系統安定化技術の知見などの強みを活かし、島しょ地域を中心とした域外への展開を通して、グループ収益の拡大に繋げるとともに、低炭素化社会と持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

以上

別紙:「硫黄島及び南鳥島における再生エネルギー等導入実証事業」の概要

「硫黄島及び南鳥島における再生可能エネルギー等導入実証事業」の概要

【業務概要】

委託元 : 環境省(防衛省連携事業)

体制 : 沖縄電力株式会社、シードおきなわ合同会社

対象地域 : 硫黄島、南鳥島

実施予定期間: 2022年度～2025年度

業務内容 : 太陽光発電、系統安定化装置(蓄電池)、可制御負荷(EV、省エネ機器等)
及びこれら機器を統合制御するEMS等の構築に関する調査・設計、機器製作、
輸送・建設工事、実証・データ分析

役割 : [沖縄電力] 事業の全体総括、実証結果の評価

[シードおきなわ] 実証設備設置、実証試験実施、試験結果の取り纏め

位置関係 :



出典: Google マップ

【関係会社の概要】

◇シードおきなわ合同会社

代表者: 最高経営責任者社長 島袋 清人

設立: 2021年

所在地: 沖縄県浦添市牧港5-2-1

事業内容: 再生可能エネルギー導入拡大及び系統安定化等に関する調査、分析、
コンサルティング、及び技術・ノウハウの販売等

以上